



申1号「駅体制の見直しについて」及び 「相馬駅の直営化に伴う体制等について」団体交渉申し入れ！

JR東労組水戸地本は2025年7月15日に「駅体制の見直しについて」及び「相馬駅の直営化に伴う体制等について」の提案を受けました。

「駅体制の見直しについて」は、効率的な業務執行体制を構築し、生産性の向上を図り、経営体質の抜本的強化を図るため、実施するとしています。友部駅の電子連動更新に伴い、輸送業務の減少や箇所体制の変更が示されています。

「相馬駅の直営化に伴う体制等について」は、上記目的の他に、社員の活躍フィールド拡大による柔軟な働き方を実現するため、実施するとしています。相馬駅の直営化に伴い、箇所体制の変更が示されています。

この間、統括センター化に関する体制や融合と連携に伴う教育について労使議論を積み重ねてきました。複数の業務を担うことによる組合員・社員への負担が増加し、お客さまに対する「安全」と「サービス」について懸念されます。従って、本施策を組合員・社員が安全第一で働きやすい職場をめざし、お客さまサービスの向上につながる施策とするため、下記の通り申し入れを行いました。総対話等で出された組合員・社員の意見をもとに、団体交渉に臨みます。

要求項目

【駅体制の見直しについて】

- ① 駅体制の見直しの目的を明らかにし、安全第一で働きやすい職場環境を構築すること。
- ② 水戸統括センター（友部駅）電子連動更新に伴い、友部駅の変更となる業務や業務執行体制を明らかにすること。
- ③ 水戸支社指令・サービス品質改革ユニットの変更となる業務や業務執行体制について明らかにすること。
- ④ 水戸統括センターにおける融合と連携の現状を明らかにし、今後の方向性を具体的に示すこと。
- ⑤ 組合員・社員が不安なく安心して働くために、教育・訓練等は事前に行い、働きがいを持てる施策とすること。
- ⑥ 乗車券の購入やチャージ等を利用するお客さまをお待たせしている状況から、友部駅に多機能券売機を増設すること。

【相馬駅の直営化に伴う体制等について】

- ① 相馬駅の直営化を行う目的を明らかにし、安全第一で働きやすい職場環境を構築すること。
- ② 原ノ町統括センター（相馬駅）直営化に伴い、増加する業務内容や業務執行体制、就業時間を明らかにすること。
- ③ 原ノ町統括センターにおける融合と連携の現状を明らかにし、今後の方向性を具体的に示すこと。
- ④ 組合員・社員が不安なく安心して働くために、教育・訓練等は事前に行い、働きがいを持てる施策とすること。また、乗務員が駅で業務を行う場合、不安があれば追加の見習い業務を行うこと。

JR東労組水戸地本は組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を行います！